

# 第3期武豊町国民健康保険データヘルス計画 第4期武豊町特定健康診査等実施計画

【概要版】

## 背景と目的

「データヘルス計画」は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的に保健事業を実施するための計画であり、本町では平成27年度に第1期計画を、平成31年度に第2期計画をそれぞれ計画期間を5年間として策定し、健康課題の解決に向けた保健事業を進めてきた。

第2期計画が令和5年度末に計画期間を終了することから、第2期計画の評価を行い、今までの保健事業の取り組み状況と本町の現状を踏まえ、さらなる被保険者の健康の保持増進および将来の医療費の削減を目指し、令和6年度からの「第3期武豊町国民健康保険データヘルス計画」を策定する。

## 計画の位置づけ

「第3期武豊町国民健康保険データヘルス計画」は、健康日本21に示された基本指針（健康寿命の延伸、健康格差の縮小等）を踏まえ、健康たけとよ21スマイルプラン、さらに上位計画の武豊町総合計画との整合性を図り策定する。

なお、「第4期特定健康診査等実施計画」は、データヘルス計画で扱う健康データの中核をなす特定健康診査・特定保健指導の具体的な実施方法を定めるものであるため、今回より一体的に策定する。

## 計画期間

令和6年度から  
令和11年度

## 武豊町の特性

### 被保険者数の推移

令和4年度末の被保険者数は7,208人。平成30年度末の8,802人以降は減少傾向で、加入世帯数も同様の傾向。

### 年齢別被保険者構成割合

臨海部に多く企業があることや被保険者の年齢構成、及び被保険者アンケートの結果により、定年退職による加入者が多いと推察。

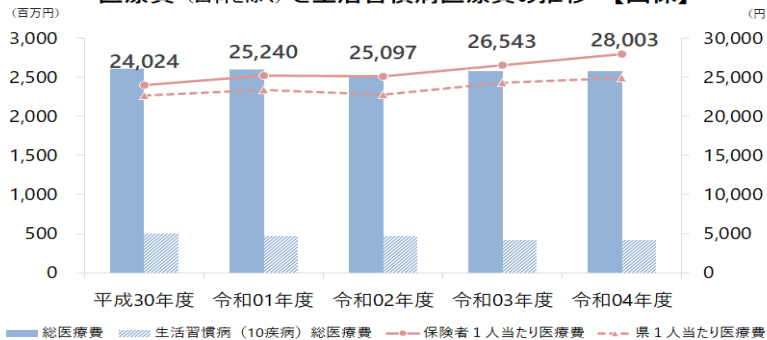
一方で、団塊の世代の後期高齢者医療への移行に伴い、令和4年度末「国保高齢化率」は47.9%で、令和2年度末（49.7%）以降は、減少傾向。

### その他

令和4年度末「総人口」は43,303人で、平成31年度末の43,584人以降は、減少傾向だが、「世帯数」は増加傾向。令和4年度末「国保加入率（被保険者数÷総人口）」は16.6%で、被用者保険適用拡大等の影響もあり減少している。令和4年度末「町高齢化率」は25.2%で、経年的に増加している。

## 医療費の状況

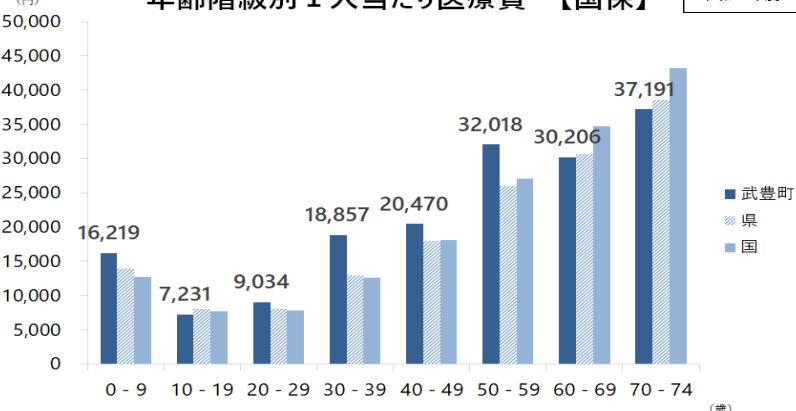
医療費（歯科を除く）と生活習慣病医療費の推移【国保】



・武豊町の医療費(歯科を除く)は、令和4年度25.76億円で、そのうちの4.23億円を生活習慣病(10疾病)が占めている。

・令和4年度の1人当たり医療費(歯科を除く)は、28,003円で、経年的に増加傾向にあり、県より高い状況。

年齢階級別1人当たり医療費【国保】



・令和4年度の「0~9歳」「20~29歳」「30~39歳」「40~49歳」「50~59歳」1人当たり医療費は、県・国よりも高い状況。

### 疾病中分類別1人当たり医療費(令和4年度)

生活習慣病における疾病別1人当たり医療費をみると、入院では「虚血性心疾患」「くも膜下出血」「高血圧性疾患」、外来では「糖尿病」「高血圧性疾患」「炎症性多発性関節障害」が県より高い。

傷病名(入院)	武豊町	県
虚血性心疾患	528円	322円
くも膜下出血	205円	57円
高血圧性疾患	35円	15円

\* (入院)循環器系疾患に限る

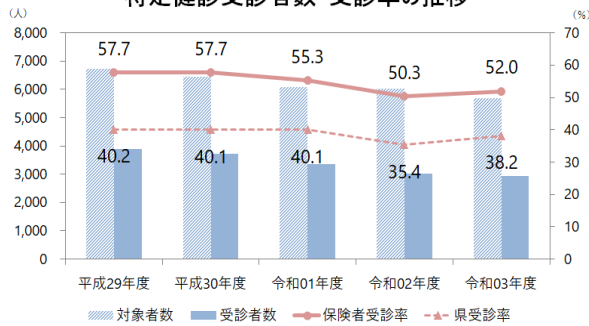
傷病名(入院外)	武豊町	県
糖尿病	1,822円	1,481円
高血圧性疾患	931円	798円
炎症性多発性関節障害	450円	338円

\* (入院外)循環器系疾患、内分泌、栄養及び代謝疾患、筋骨格系及び結合組織疾患のうち上位3つ

# 特定健診・特定保健指導の状況

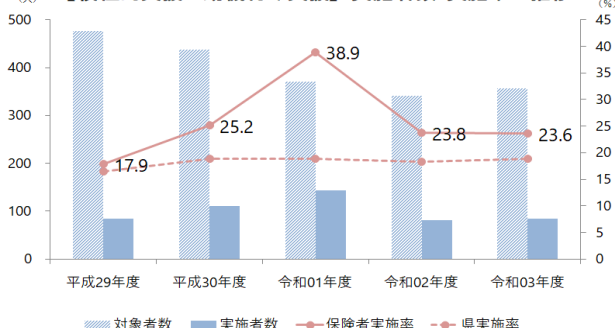
・令和3年度の特定健診は、対象者数5,674人、受診者数2,949人、受診率52.0%で、県より高い水準で推移している。

特定健診受診者数・受診率の推移



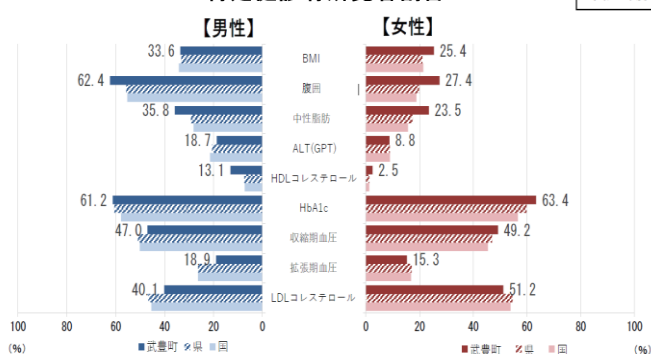
・令和3年度特定保健指導実施率は、23.6%で、県より高い水準で推移している。

【積極的支援 + 動機付け支援】実施者数・実施率の推移



特定健診有所見者割合

令和04年度



性・年齢階級別受診率

令和04年度

年齢	男性 (%)	女性 (%)
40~44歳	20.3%	31.3%
45~49歳	23.9%	38.5%
50~54歳	30.1%	38.8%
55~59歳	29.9%	42.1%
60~64歳	36.6%	53.5%
65~69歳	54.4%	58.0%
70~74歳	60.6%	69.3%

・健診結果から見る有所見者割合は、男性は「腹囲」「中性脂肪」「HDLコレステロール」が、女性は「BMI」「腹囲」「中性脂肪」「HDLコレステロール」「HbA1c」が県・国よりも高くなっている。  
・性・年齢階級別受診率は年齢階級とともに増加傾向が見られる。

## 健康課題と目標

計画全体の目的：被保険者が自身の健康状態を知り、適切な行動をとることができる

健康課題	目標
◆R5.7実施の武豊町国民健康保険データヘルス計画等の策定に関するアンケートで、21%が健康診査（健康診断）が未受診	特定健康診査、適正受診者の増加
◆R3特定保健指導対象者の減少率は16.2%、特定保健指導による減少率は18.4%で県より低い。	
◆腹囲（R4:男62.4%、女27.4%）、中性脂肪（R4:男35.8%、女23.5%）、HDLコレステロール（R4:男13.1%、女2.5%）が、女性は加えてHbA1c（R4:63.4%）、BMI（R4:25.4%）の有所見率が県・国より悪い状態。	生活習慣病の原因となるリスクが減る
◆メタボ該当割合（R3:男39.7%、女18.7%）、メタボ予備群割合（R3:男19.5%、女7.5%）が県より高い。	
◆R4健診時質問票の「20歳時体重から10kg以上増加」は38.6%で県より高い。	適正な受診行動をとる
◆「飲酒日1日当たりの飲酒量（1~2合）」が25.0%で県より高い。	
◆R4受診勧奨者医療機関非受診率は4.8%、未治療率は6.0%で県より高い。	
◆糖尿病性腎症4期の割合（R4:1.1%）と腎症3期の割合（R4:11.9%）で県より高い。	
◆1人当たり医療費（入院）は新生物（R4:2,150円）、循環器系疾患（R4:2,013円）、精神および行動の障害（R4:1,437円）が県より高い。また循環器系疾患では虚血性心疾患（R4:528円）、くも膜下出血（R4:205円）で県より高い。	

## 健康課題を解決するための事業

事業名	目的
特定健康診査事業	健診受診率の更なる向上を推進し、被保険者の健康増進及び国民健康保険の医療費の適正化を図る。積極的な受診勧奨を実施し、確実に健診を受けてもらうことで生活習慣病の早期発見をし、重症化を未然に防ぐ。
特定保健指導事業	特定保健指導率を向上し、被保険者の健康増進及び新たな生活習慣病の発症を予防する。
生活習慣病重症化予防事業	特定健診における有所見者に対し生活習慣の改善を勧奨し、生活習慣病の予防や重症化を未然に防ぐ。保健指導対象者となる人を減少させ、特定保健指導実施率の向上を目指す。早期から生活習慣の改善を勧奨し、重症化を未然に防ぐ。
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症による新規透析導入患者の減少及び導入時期の遅延を図るため、重症化するリスクの高い「医療機関の未受診者・受診中断者」が予防の必要性を十分理解し、定期受診を継続し、生活習慣を改善できる。
「幸せの黄色いボン」事業	腹囲基準値超えの者が多く、県下1位となったことがある。現状を広く知ってもらい、意識づけ、関心をもってもらうことで行動変容を促し、腹囲基準値超えの者を減らす。
依存症予防事業	喫煙や飲酒習慣のある者が正しい知識を持ち、生活習慣の改善につなげることができる。
重複・頻回受診者、重複・多剤服薬者個別保健指導事業	重複・頻回受診者、重複服薬者に個別保健指導を実施し、健康状態や生活状況を把握し、適正受診・適正服薬の指導をすることで、被保険者の健康増進及び国民健康保険の医療費適正化を図る。
ジェネリック医薬品利用促進事業	ジェネリック医薬品の利用率向上による医療費の適正化を目指す。
40歳未満健診受診勧奨事業	生活習慣病の早期発見をし、重症化を未然に防ぐ。若い世代から健診受診の意識付けをすることで、長期的には特定健診の受診率向上を目指す。